

カトリック河原町教会だより

2025年9・10月

教皇レオ十四世 2025年9月15日—慰めの祝祭前晩の祈りの講話(抜粋)

「慰めよ、わたしの民を慰めよ」(イザ 40・1)。この預言者イザヤの招きは、今日、わたしたちにも命令として届きます。弱さ、悲しみ、苦しさの状況を生きる多くの兄弟姉妹と神の慰めを分かち合うようにと。すべての苦しみは、イエス・キリストの恵みによって変容させることが可能です。

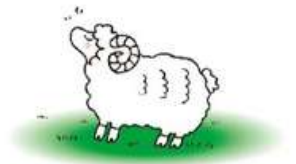
わたしたちは自分を慰めてくれる人を探しますが、しばしばそのような人を見いだすことができません。ことばが役に立たず、ほとんどうわべだけのものとなるような状況が存在します。わたしたちの人生には、涙だけがイエスを見るために自分を整えてくれるような時があります。苦しみがあるところでは、どうしても問いが生じます。いったい、なぜこのような悪が存在するのだろうか。悪はどこから来るのだろうか。なぜ悪がわたしに降りかけなければならないのだろうか。問いは、神がわたしたちに約束された正義と平和に対する抗議、嘆き、願いとなるべきです。そうすれば、たとえ答えがないように思われるときでも、わたしたちは天に橋をかけることができます。わたしたちは教会の中で、開かれた天である、イエスを求めます。イエスは神のわたしたちへの架け橋だからです。



人生は、受けた悪によってのみ定義されるのではなく、わたしたちを決して見捨てず、教会全体を導かれる、神の愛によって定義されます。このことを知る力を、わたしたちが悲しみの聖母から受け取ることができますように。自分の力にのみ頼ることができると錯覚して、神に慰めていただくことを妨げてはなりません。イエスは、慰め主である聖霊を与える小羊です。この慰め主は、わたしたちを決して見捨てることなく、必要なときにわたしたちを慰め、恵みによって力づけてくださいます(使 15・31 参照)。

死によってわたしたちから引き離された、わたしたちが愛する人々は、失われたのでも、むなしく消え去ったのでもありません。彼らのいのちは主に属しています。主は、善い羊飼いとして、彼らを抱き寄せ、ご自分にしっかりと結びつけ、いつの日かわたしたちのもとに返してくださいます。その日、

わたしたちは、永遠の幸福をともに味わうことができるのです。



聖霊降臨

(使徒2・1-11；ローマ8・8-17；ヨハネ14・115-16、23-26)

洛東ブロック担当司祭 グエン・バン・ナン

今日の福音では、イエス様が弟子たちに約束されたことが実現されました。それは、御父が聖霊を遣わし、弟子たちと永遠に一緒にいるようにしてくださったことです。聖霊を受けたお陰で、第一朗読にあるように、弟子たちに奇跡が起きました。また、聖パウロによれば、「私たちの体は罪によって死んでいても、聖霊は義によって命となります。聖霊によって体の仕業を絶つならば、私たちは生きます。この聖霊によって、私たちは、「アッパ、父よ」と呼ぶ、相続人でもあります」。また、聖ヨハネが教えられたように、聖霊の賜物のお陰で、私たちは福音の愛を述べ伝える使命、愛の掟を果たすことが出来ます。つまり、私たちが手にしてきたものは聖霊の恵みと愛のお陰なのです。

具体的に、聖霊の賜物とは何でしょうか。聖霊の賜物が私たちの生活をどう助けてくれているか自問しましょう。皆さん、ご存知のように、聖霊は、私たちに次の7つの力と恵みを賜物として与えます。聖霊は私たち自身のうちに働き、あらゆる良い行いをさせるのです。それは、知恵（上智）、理解、知識、判断、勇気、孝愛（神を愛する恵み）、主への畏敬（神を敬う恵み）です。あらゆる良い行いのために、この聖霊の賜物が必要です。

私は聖霊賜物について入門講座で学生たちに説明する時、こうたとえます。それは、両親を助けるために、お金を送るという身近な例えです。まず、両親に送るべきか送るべきでないかを見分けなければなりません。そのためには、両親が何にお金を使うかを知らなければなりません。そうしないと、お金が悪用されるかもしれません。見分けるためには、知恵が必要です。

さて、お金を送ることを決めたら、どう送るかと言う問題があります。安く、安全に送るためには、色々な方法を知らなければなりません。そのために、理解する恵みは本当に必要です。色々な方法を理解したら、一番良い送り方を選びます。そうするためには知識という恵みが必要です。もし色々な方法を知らなかったら、誰に良い方法を聞き、判断しなければなりません。誰からアドバイスをもらうか、人に助言してあげることができるのは判断という恵みが必要です。色々な方法を知り、一番良い送り方を選んでもお金を失うリスクがあります。両親を助けるためには、リスクを受け入れるべきです。それが、勇気と言えます。言い換えると、勇気の恵みは必要です。

次に、両親を助けることは子供のつとめです。そのことを通して、子供は孝愛を表すことが出来ます。言葉ではやさしいかもしれませんが、行うことは本当に難しいと思います。ですから、孝愛の恵みは必要です。最後になりますが、時々、両親から感謝される代わりに、文句を言われることがあります。こうした経験を思い出すと、両親を助けたくなくなります。でも、神の愛の掟を守らなかったり、神様がそのために悲しまれると思ったら、私たちは行います。これが主を畏敬する恵みなのです。

つまり、聖霊とは、神様が私たちに贈ってくださったものです。聖霊は、私たちと共に歩み、私たちにイエス様の教えを理解させ、私たちを守り、助け、活かし、力づけ支えてくださいます。心を開きましょう。聖霊が働き、聖化され、私たちの心に愛と恵みを注ぎ入れられますように。

敬老感謝意向のミサとミサ後の懇親会

9月14日 10:30 から敬老感謝意向のミサが一場神父様の司式により執り行われました。ミサ後には懇親会が50名ほどの参加者のもとヴィリオンホールにて行われました。軽食をつまみながら、皆様今年も再会を祝い、楽しいひと時を過ごされました。



敬老感謝の集い記念
二〇二五・九・一四
カトリック河原町教会

希望を失うことのない人は幸いです
(シラキ 14・2)

戦争と平和写真展(京都教区 正義と平和協議会主催)

当日に配られたご絵

8月9日・10日の戦争と平和写真展に多くの方が来られました。



2025 年 クリスマスチャリティーコンサートの案内

カトリック河原町教会クリスマスチャリティーコンサート

2025 年 11 月 30 日 (日) 14 時 30 分開演

合唱 (河原町教会聖歌隊)、パイプオルガン (桑山彩子)、ソプラノ (橋本仁子)、ヨシ笛・オーボエ (中木明日香)

収益はカリタスジャパンのクリスマス募金に寄付します。この募金は、世界の子どものためへの支援活動に使われます。

入場料 1,000 円

2025 年 10 月～12 月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行 事 予 定
10	5	日	[年間第 27 主日] 10:00 ロザリオの祈り喜びの神秘
	12	日	[年間第 28 主日] 10:00 ロザリオの祈り光の神秘
	19	日	[年間第 29 主日] 10:00 ロザリオの祈り苦しみの神秘 世界宣教の日(献金)
	26	日	[年間第 30 主日] 10:00 ロザリオの祈り栄えの神秘
11	1	土	諸聖人 諸死者追悼祈願ミサ 18:30
	2	日	死者の日(年間第 31 週) 京都教区物故者追悼および死者祈念ミサ 14:00
	9	日	ラテラン教会の献堂(年間第 32 週)
	16	日	[年間第 33 主日] 七五三お祝い 10:30 ミサ 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～23 日)
	23	日	王であるキリスト(年間第 34 週) 世界青年の日
	30	日	[待降節第 1 主日](A 年) クリスマスチャリティーコンサート 14:30
	3	水	日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエルの祝日 京都教区司教座教会献堂記念ミサ 10:30
12	7	日	[待降節第 2 主日] 宣教地召命促進の日(献金)
	8	月	無原罪の聖マリア
	14	日	[待降節第 3 主日]
	21	日	[待降節第 4 主日] ナン神父様霊名のお祝い 10:30 ミサ
	24	水	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	木	主の降誕(日中)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語)
	28	日	聖家族 2025 年聖年閉幕ミサ 10:30



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第 2 第 4 のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

木曜日 10:00(聖年の為)

金曜日 10:30(10 月休み)

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日もあり)

キリスト教入門講座(キリスト教に
関心がある人、洗礼を考えている人
向け)

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(一場神父)

「聖書」

キリスト教入門講座

第 2・4 土曜日 11:00(一場神父)

「キリスト教とは何か」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシー
のチーム)「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

※原則として毎週

養成講座(隔週)

水曜日 10:10(ソ神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(一場神父)

聖書を順番に輪読する集い

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

祈りの集い

聖体顕示式

第 3 土曜日 15:15(ソ神父)

祈りの分かち合い

第 2・4 日曜日 9:45(Sr.小川)

初めて参加ご希望の方は事務室へお問
い合わせください。

カトリック河原町教会だより 2025.9・10 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>